

総括表の記載方法

紙請求の場合は以下のとおりとする。

1 総括表の記載方法等

- (1) 「平成 年 月分」・「表別」欄から「保険医療機関等の……………開設者氏名」欄は、国保の総括表と同様に記載する。
- (2) 保険者番号、割合区分等ごとに記載する。(更に「特」に該当する場合は、別行に記載する。)
- (3) 「保険者番号」欄は、福祉医療費を請求する市町村国保の保険者番号(6桁)を記載する。
- (4) 「割合区分等」欄について ア 「一般・70歳以上2割・70歳以上3割・6歳」の該当箇所を○で囲む。イ 感染症法、障害者総合支援法(精神通院医療、更生医療、育成医療、療養介護医療)、肝炎治療、特定疾患、小児慢性、難病法(特定医療)、特定B型肝炎、児童福祉法(障害児施設医療)、㊦及び高額(高齢受給者を除く。)に係る請求については「一般・70歳以上2割・70歳以上3割・6歳」の該当箇所並びに「特」の2箇所を○で囲む。
- (5) 「入・外」欄は、該当するものを○で囲む。
- (6) 「件数、点数」欄は、福祉医療費【連記式】請求書の「療養の給付」欄の件数、点数を記載する。
- (7) 「福祉医療費請求額」欄は、「高齢受給者、特」該当の場合に請求金額の合計を記載する。(高齢受給者は明細書の請求金額欄に記載されている場合。)